

(平成29年7月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	<p>7月の青果物の入荷量は、6月末の気温上昇や降雨の影響で生育良好となり前年同月並みであったが、野菜の需要低迷により、単価は前年同月比で12%下回った。</p> <p>8月は、枝豆やとうもろこし、露地物のブドウ等が最盛期を迎え、松茸や新物のリンゴ、日本梨等のお荷が始まる。</p>
野 菜	<p>野菜のお荷量は、土物類において小玉傾向となったものの、7月まで冬春産地の出荷が続いたことにより、前年同月並みとなり、単価は需要低迷により前年同月比で17%下回った。</p> <p>根菜類のお荷量は前年同月比並みであり、単価は32%下回った。</p> <p>葉菜類のお荷量は前年同月比並みであり、単価は12%下回った。</p> <p>果菜類のお荷量は前年同月比で8%上回り、単価は15%下回った。</p> <p>土物類のお荷量は小玉の比率が高く、前年同月比で9%下回った。また、消費需要の低迷により、単価も33%下回った。</p>
果 実	<p>果実のお荷量は、出荷開始時期が遅れたため、前年同月比で9%下回り、出遅れに伴う品薄感の強まりにより、単価は8%上回った。</p> <p>柑橘類のお荷量は前年同月比で4%下回り、単価は前年同月並みであった。</p> <p>リンゴ類のお荷量は前年同月比で6%上回り、単価は15%下回った。</p> <p>モモ類のお荷量は前年同月比で11%下回り、単価は7%上回った。</p> <p>ブドウ類のお荷量は前年同月並みであり、単価は8%上回った。</p> <p>メロン類のお荷量は前年同月比で15%下回り、単価は11%上回った。</p> <p>スイカ類のお荷量は前年同月比で10%下回り、単価は9%上回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	北海道，青森から入荷された。高温による品質低下から入荷量は前年同月比で３％下回った。また，加工需要及び消費需要の低迷により，単価も３４％下回った。
西洋ニンジン	北海道，青森から入荷された。入荷量は前年同月比で４％上回り，単価は４１％下回った。
【葉菜類】 ハクサイ	長野から入荷された。相場低迷の影響から出荷調整が行われ，入荷量は前年同月比で３％下回ったが，加工需要及び消費需要の低迷により，単価も５％下回った。
キャベツ	長野，群馬を中心に滋賀，京都から入荷された。入荷量は前年同月比で４％上回り，単価は２４％下回った。
ホウレンソウ	岐阜を中心に茨城，群馬，静岡，京都，滋賀から入荷された。入荷量は前年同月比で４％上回り，単価は１０％下回った。
レタス	長野から入荷された。入荷量は前年同月比で３％上回り，単価は１６％下回った。
【果菜類】 キュウリ	福島，愛媛，長野，京都から入荷された。入荷量は前年同月比で１３％上回り，単価は２４％下回った。
ナス	徳島，岐阜，香川，熊本，京都から入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は２１％下回った。
トマト	北海道，岐阜，京都から入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は１５％下回った。
ピーマン	大分，宮崎，兵庫から入荷された。入荷量は前年同月比で３３％上回り，単価は２０％下回った。

【土物類】

バレイショ
(メーク含む)

千葉、茨城を中心に青森、北海道から入荷された。小玉比率が高く、入荷量は前年同月比で11%下回った。また、気温上昇により消費需要が低迷し、単価も30%下回った。

タマネギ

兵庫から入荷された。バレイショ同様小玉比率が高く、入荷量は前年同月比で3%下回った。また、消費需要の低迷により、単価も51%下回った。

【その他野菜】

生シイタケ

徳島，北海道，和歌山，岡山から入荷された。入荷量は前年同月比で３％上回り，単価は１３％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	和歌山，大分，長崎，佐賀から入荷された。入荷量は前年同月比で５％下回り，単価は前年同月並みであった。
ふじ	青森から入荷された。入荷量は前年同月比で３８％下回り，単価は前年同月並みであった。
桃	山梨，和歌山，長野，福島，岡山から入荷された。入荷量は前年同月比で１１％下回り，単価は８％上回った。
デラウェア	山形，鳥取，大阪から入荷された。入荷量は前年同月比で４％上回った。また，競合品目がなかったため，単価も１０％上回った。
アールスメロン	静岡，京都，高知から入荷された。入荷量は前年同月比で１０％上回り，単価は前年同月並みであった。
アンデスメロン	山形から入荷された。入荷量は前年同月比で１９％下回り，単価は８％上回った。
大玉スイカ	石川　長野，山形から入荷された。入荷量は前年同月比で１０％下回り，単価は９％上回った。